



平成27年11月19日

旅行医学論講義を医歯薬学総合研究科で開講

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科は、平成26年4月から修士課程医歯科学専攻に「公衆衛生学コース（MPHコース）」を新設し、本年度後期から、「旅行医学論」の講義を開始しました。本科目は、来年度から一般教育の実践科目としても展開します。

<概要>

旅行医学は、グローバル化が進む中で海外旅行に出かける日本人がますます増大している現状から、そのニーズが極めて高まっている医学分野です。海外旅行は、単なる観光以外に、ビジネスや就労などの海外赴任、親戚や友人の訪問、探検目的など、多様な目的を持ちます。そして多くの方々が経験しているように、タイトな日程の中で数多くのイベントをこなしていく比較的高価な旅行です。

その一方、旅行中に激しい下痢等に見舞われる旅行者の割合が約半数に達する国や、マラリア等の熱帯熱疾患に罹患（りかん）する危険性のある国などもあります。従って、海外での行動を日程通りこなしていくためには、訪問先の保健医療社会状況の情報だけでなく、極めて高度で実践的な保健医療知識の供給を訪問先に合わせて適宜・効率よく旅行医学の専門家から受ける必要があります。

旅行医学は、欧米ではすでに数十年前から発達してきており、医学の一分野として確立しテキストもそろっています。しかし、日本の大学医学部で教えているところはまだほんの一部です。旅行医学は、総合保健医療情報学の側面もあります。インターネットを駆使して、世界中から信頼できる保健医療情報を収集する技術を身につけるのも旅行医学の目的です。

本学は、インド・コルカタ市に感染症研究の拠点があります。National Institute of Cholerae & Enteric Diseases（NICED、インド国立コレラ及び腸管感染症研究所）内に設置された岡山大学インド感染症共同研究センターは、日本とインドの旅行医学研究の重要な拠点としても見ることができます。すでに今年度内に、インドを旅行する日本人旅行者を対象とした旅行医学研究が立ち上がろうとしています。日本の旅行者、海外赴任者、ひいては世界の旅行者や旅行をしなくても保健医療上のニーズが必要とされる全ての人々のための研究が、インド拠点で始まろうとしています。



<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科（医）

教授 土居 弘幸

（電話番号）086-235-7170

（FAX番号）086-235-7178

岡山大学大学院環境生命科学研究科（環）

教授 津田敏秀

（電話番号）086-251-8883

（FAX番号）086-251-8883